

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	座間市立児童発達支援センター サニーキッズ (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2025年 1月27 日		2025年 3月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 2月 7日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	対象児への支援経験を持つ専門職が対応しています。 (集団)・重症心身障害児者の支援経験を持つ看護師が主となり、支援を行っています。 (個別)・児童分野での支援経験をもつ作業療法士が支援を行っています。	(集団)・療育的視点を意識し、活動を展開しています。 (個別)・生活のしやすさにつながることを念頭に支援を行っています	保育士との意見交換など、他職種連携に努めます。
2	同事業所内に児童発達支援事業の展開があり、継続(経過)利用することで、成長や過ごし経過を踏まえた環境で支援提供が実施できています。	過ごし方に対するニーズを受け、一人一人の希望に合った過ごしや活動提供を行っています。	一人一人の成長や変化に合わせて、新たな興味関心・気付きを引き出せるような活動拡大に取り組みます。
3	児童発達支援センター内に設置されており、活動スペースとして幅広く使用することができます。 建物内で同時間帯に他事業が展開されており、利用時間中に交流の機会があります。	廊下や庭先などのスペースを利用し、ウォーカーの使用など動きのある課題や、屋外での活動を取り入れています。 可能な範囲で活動に接点を持たせたり、場を共有するなどの機会を設けています。	近隣の社会資源を活用し、活動の幅を広げていけるよう取り組みます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	(集団)利用人数が少なく、集団活動の展開には至っていません。	対象となるお子さんが少ないことが要因と考えられます。	・指定管理施設として必要な子どもについて確実に受け入れが行えるよう、体制の維持に努めていきます。 ・事業について広く知っていただく機会を設けるとともに、地域ニーズ、その他資源について情報収集のもと必要なサービス提供に努めていきます。
2	(集団)屋外で行う活動の幅が狭く、限られています。	立地条件や建物構造が十分にバリアフリー化されていないことが要因となっています。	・長期休暇など活動時間が確保できる時はコミュニティセンターなどへの外出機会を設けています。今後も子どもの反応を大切しながら、機会の提供を行います。 ・簡易スロープの設置など、テラス活用に向け模索してまいります。事業所外での活動展開について模索してまいります。
3	(個別)2回/月以上の利用希望には対応が難しい状況です。	支援者が限定されており、放課後のみの時間枠では想定を超える枠の設定ができないことが要因として考えられます。	・希望者が増える場合には時間枠の確保に向け、枠組みの見直し等を行います。